

文部科学省 科学技術政策研究所



政策研ニュース

10

National Institute of Science and Technology Policy NO.252



所内講演会「エジプトの科学技術事情」

目次

I. レポート紹介	P2
日中韓科学技術政策セミナー2009、京都にて開催	
	企画課 国際研究協力官 星越明日香
II. 最近の動き	P4



I. レポート紹介

日中韓科学技術政策セミナー2009、京都にて開催

企画課 国際研究協力官 星越明日香

科学技術政策研究所は、10月8、9日の二日間にわたり、ホテル京阪京都を会場に日中韓科学技術政策セミナー2009を主催した。

日中韓科学技術政策セミナーは日本・中国・韓国を代表する5つの科学技術政策研究を担う政府機関が一堂に会し、研究交流を深めることを目的として、2006年に始まった。第1回セミナーは当研究所が主催し、その後、各機関がホストを務め、2007年には韓国 The Science and Technology Policy Institute (STEPI)の主催で、2008年には中国 The Chinese Academy of Science and Technology for Development (CASTED)と The Chinese Academy of Sciences, Institute of Policy and Management (CAS/IPM) の主催で北京にてセミナーが開催されたものである。



今回は二日間にわたり24の発表と京都大学宇治キャンパスへの視察等を行った。セミナーでは発表をテーマごとに5つのセッションに分け、それぞれ発表の後に会場の参加者と質疑応答を行った。

第1セッション(“Highlights of Research Activities in Each Institution”)では、各機関より、科学技術政策・研究活動のハイライトを紹介し、各国の最新動向について知見を共有した。第2セッションは、“National Innovation System and Economic Growth”と題し、各国のイノベーション活動の具体的事例を紹介するとともに、その経済効果について注目して議論を行った。第3セッションは“Science and Technology Foresight”と題し、技術予測をキーワードとした。各国における重点科学技術分野について様々な例が紹介された。第4セッション(“Science and Technology for Green Society”)は、各国における、地球温暖化の防止、気候変動への適応に向けた取り組みについて、科学技術政策の文脈からの貢献、活動例について着目し議論を展開した。第5セッション(“Science and Technology Human Resources”)では、各国における研究開発人材の流動性ならびに博士学位取得後のキャリア形成について、国内外への移動に留意しつつ傾向を紹介し、議論を行った。



今回は世界的大不況の影響や地球温暖化への認識の高まりを受け、イノベーションの経済効果やグリーンテクノロジーに関連した発表が行われたことが特徴的であった。また、研究開発人材の動態については、今後とも情報交換を継続したいとの見解が示された。

二日目のクロージングセッションでは Korea Institute of Science and Technology Evaluation and Planning (KISTEP) の所長である June Seung Lee 博士より、来年のセミナーは韓国で開催する旨の宣言がなされた。



Ⅱ. 最近の動き

○ 講演会・セミナー

- ・ 9/16 「科学技術の悪用・誤用防止のための責任、倫理、ガバナンスのあり方について
ーライフサイエンス領域における主要諸国の取り組みの事例紹介ー」
Brian Rappert : 英国エクセター大学 社会・哲学学部 科学技術公共政策学科 准教授
- ・ 9/18 「高流動性地域における高度専門職の人的資源管理と雇用制度」
藤本 昌代 : 同志社大学社会学部准教授
- ・ 9/24 「エジプトの科学技術事情」
塚本 勝 : エジプト科学研究省アドバイザー (JICA 専門家、JST 国際部所属)
- ・ 9/29 「オーラル・ヒストリーの実際 : トヨタにみる製品技術・生産技術・製造技術の相互発展のダイナミズム」
松島 茂 : 東京理科大学専門職大学院総合科学技術経営研究科教授

○ 主要訪問者一覧

- ・ 9/16 Brian Rappert : 英国エクセター大学 社会・哲学学部 科学技術公共政策学科 准教授
- ・ 9/17 Lorna Casselton : Royal Society
James Wilsdon : Royal Society

○ 新着研究報告・資料

- ・ 「科学技術動向 2009年9月号」(9月30日発行)
 - レポート1 微細藻類(マイクロアルジェ)が開く未来
ー有用性とその利用ー
鷺見 芳彦 特別研究員
 - レポート2 情報通信デバイスで注目される左手系メタマテリアル技術
武田 重喜 客員研究官
吉永 孝司 情報通信ユニット



編集・発行

文部科学省科学技術政策研究所広報委員会 (政策研ニュース担当 : 企画課)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-2 中央合同庁舎第7号館東館16階

電話 : 03 (3581) 2466 FAX : 03 (3503) 3996

ホームページ URL : <http://www.nistep.go.jp> E-mail : news@nistep.go.jp

2009年10月号 No. 252 (平成21年10月1日発行)